

(案)

第四次国有林野施業実施計画 第二次変更計画書

(後志胆振森林計画区)

計画期間 $\left(\begin{array}{l} \text{自 平成25年4月 1日} \\ \text{至 平成30年3月31日} \end{array} \right)$

策 定 年 月 日 : 平成25年3月28日
第一次変更年月日 : 平成26年3月28日
第二次変更年月日 : 平成27年3月 日

北海道森林管理局

後志胆振森林計画区の第四次国有林野施業実施計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成 11 年農林水産省訓令第 2 号）第 14 条第 2 項に基づき変更する。

- 1 森林整備の必要箇所の精査により、人工林の間伐等に係る伐採箇所の追加から伐採総量を変更する。
- 2 治山事業を実施する地区及び数量について、重要性、緊急性等を勘案し変更する。
- 3 レクリエーションの森の名称を管理経営方針書の名称と一致させるための変更及び、「有珠山施設」に介在する道路敷地について、一体的で効率的な管理を行うためレクリエーションの森に指定し面積を変更する。
- 4 新たに「遊々の森」の協定を締結したことから対象地等を追加する。

なお、本変更計画は、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。

【変更項目及び頁】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
（4）伐採総量	〈施実変更 3〉 1
4 治山に関する事項	（6） 5
6 レクリエーションの森の名称及び区域	（9） 7
8 その他必要な事項	
（2）フィールドの提供	（15） 9

別表

レクリエーションの森箇所別一覧表

注：1 （ ）書は、変更前の後志胆振森林計画区の第四次国有林野施業実施計画書の頁であり、〈 〉書は、第一次変更計画書の頁である。

2 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、下線部が変更等の箇所である。

【現行計画】

- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの
伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(4) 伐採総量

(単位: m³、ha)

区 分		林 地					林 地 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ		8,872	(342) 11,776	20,648				
自然維持タイプ		—	(38) 1,520	1,520				
森林空間利用タイプ		935	(28) 1,006	1,941				
快適環境形成タイプ		—	—	—				
水源涵養タイプ	単 層 林	5,167	(1,640) 70,841	76,008				
	長期単層林	—	—	—				
	複 層 林	4,330	(449) 19,520	23,850				
	混 交 林	—	(233) 9,222	9,222				
	育成天然林	—	—	—				
	天 然 生 林	—	—	—				
	計	9,497	(2,322) 99,583	109,080				
合 計		19,304	(2,730) 113,885	133,189	15,000	148,189	—	148,189
年 平 均		3,867	(545) 22,771	26,638	3,000	29,638	—	29,638

注1) 上段()は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【現行計画】

(再掲)市町村別内訳

(単位:m³、ha)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
室 蘭 市	—	(36) 2,164	2,164				
登 別 市	596	(434) 18,823	19,419				
伊 達 市	7,405	(929) 43,067	50,472				
島 牧 村	—	(167) 4,986	4,986				
寿 都 町	—	(219) 9,442	9,442				
黒 松 内 町	—	(323) 11,664	11,664				
留 寿 都 村	—	(19) 676	676				
喜 茂 別 町	1,691	(14) 484	2,175				
京 極 町	1,860	(20) 466	2,326				
倶 知 安 町	—	(3) 136	136				
共 和 町	407	(135) 4,971	5,378				
岩 内 町	82	(13) 293	375				
泊 村	378	(28) 702	1,080				
神 恵 内 村	2,045	(66) 1,982	4,027				
壮 瞥 町	4,840	(324) 14,029	18,869				
合 計	19,304	(2,730) 113,885	133,189				

注 1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注 2) 上段 () は、間伐面積である。

【変更計画】

- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(4) 伐採総量

(単位: m³、ha)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ		8,872	(342) 11,776	20,648				
自然維持タイプ		—	(38) 1,520	1,520				
森林空間利用タイプ		935	(28) 1,006	1,941				
快適環境形成タイプ		—	—	—				
水源涵養タイプ	単 層 林	5,167	(1,737) 74,740	79,907				
	長期単層林	—	—	—				
	複 層 林	4,330	(427) 19,097	23,427				
	混 交 林	—	(226) 8,965	8,965				
	育成天然林	—	—	—				
	天然生林	—	—	—				
	計	9,497	(2,390) 102,802	112,299				
合 計		19,304	(2,798) 117,104	136,408	15,000	151,408	—	151,408
年 平 均		3,867	(568) 23,844	27,711	3,000	30,711	—	30,711

注1) 上段()は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【変更計画】

(再掲)市町村別内訳

(単位:m³、ha)

市 町 村 名	林 地			臨時伐採量	計	林地以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計				
室 蘭 市	—	(44) 2,949	2,949				
登 別 市	596	(491) 21,227	21,823				
伊 達 市	7,405	(932) 43,097	50,502				
島 牧 村	—	(167) 4,986	4,986				
寿 都 町	—	(219) 9,442	9,442				
黒 松 内 町	—	(323) 11,664	11,664				
留 寿 都 村	—	(19) 676	676				
喜 茂 別 町	1,691	(14) 484	2,175				
京 極 町	1,860	(20) 466	2,326				
倶 知 安 町	—	(3) 136	136				
共 和 町	407	(135) 4,971	5,378				
岩 内 町	82	(13) 293	375				
泊 村	378	(28) 702	1,080				
神 恵 内 村	2,045	(66) 1,982	4,027				
壮 瞥 町	4,840	(324) 14,029	18,869				
合 計	19,304	(2,798) 117,104	136,408				

注 1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注 2) 上段 () は、間伐面積である。

【現行計画】

4 治山に関する事項

位置	区 分	工 種	計 画 量	備 考
2403林班	保全施設	溪 間 工	7箇所	
2404林班	保全施設	溪 間 工	3箇所	
2405林班	保全施設	溪 間 工	5箇所	
2409林班	保全施設	溪 間 工	1箇所	
2410林班	保全施設	溪 間 工	2箇所	
2411林班	保全施設	溪 間 工	3箇所	
2412林班	保全施設	溪 間 工	5箇所	
2413林班	保全施設	溪 間 工	1箇所	
3349林班	保全施設	溪 間 工	1箇所	
3510林班	保全施設	溪 間 工	1箇所	
1017林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
1083林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
1458林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
1540林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
2387林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3350林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3497林班	保全施設	山 腹 工	2箇所	
3505林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3509林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
2404林班	保全施設	保安林管理道	1箇所	
2405林班	保全施設	保安林管理道	1箇所	
2411林班	保全施設	保安林管理道	1箇所	
2413林班	保全施設	保安林管理道	1箇所	
235林班	保安林の整備	本数調整伐	1ha	
252林班	保安林の整備	本数調整伐	1ha	
312林班	保安林の整備	本数調整伐	11ha	
1176林班	保安林の整備	本数調整伐	5ha	
1204林班	保安林の整備	本数調整伐	21ha	
1350林班	保安林の整備	本数調整伐	7ha	
2035林班	保安林の整備	本数調整伐	13ha	
2217林班	保安林の整備	本数調整伐	8ha	
2361林班	保安林の整備	本数調整伐	2ha	
2363林班	保安林の整備	本数調整伐	15ha	
2390林班	保安林の整備	本数調整伐	5ha	
2392林班	保安林の整備	本数調整伐	2ha	
3050林班	保安林の整備	本数調整伐	7ha	
3082林班	保安林の整備	本数調整伐	4ha	
3084林班	保安林の整備	本数調整伐	5ha	
3138林班	保安林の整備	本数調整伐	2ha	
3139林班	保安林の整備	本数調整伐	17ha	
森林計画区計	保全施設	溪間工	29 箇所	
		山腹工	10 箇所	
		保安林管理道	4 箇所	
		計	43 箇所	
	保安林の整備	植栽工	— ha	
		本数調整伐	126 ha	
		計	126 ha	

【現行計画】

4 治山に関する事項

位置	区 分	工 種	計 画 量	備 考
2403林班	保全施設	溪 間 工	7箇所	
2404林班	保全施設	溪 間 工	3箇所	
2405林班	保全施設	溪 間 工	5箇所	
2409林班	保全施設	溪 間 工	1箇所	
2410林班	保全施設	溪 間 工	2箇所	
2411林班	保全施設	溪 間 工	3箇所	
2412林班	保全施設	溪 間 工	5箇所	
2413林班	保全施設	溪 間 工	1箇所	
3349林班	保全施設	溪 間 工	1箇所	
3510林班	保全施設	溪 間 工	1箇所	
1017林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
1056林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
1062林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
1083林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
1458林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
1540林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
2387林班	保全施設	山 腹 工	2箇所	
2398林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3350林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3497林班	保全施設	山 腹 工	2箇所	
3505林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3506林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3507林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3508林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
3509林班	保全施設	山 腹 工	1箇所	
2404林班	保全施設	保安林管理道	1箇所	
2405林班	保全施設	保安林管理道	1箇所	
2411林班	保全施設	保安林管理道	1箇所	
2413林班	保全施設	保安林管理道	1箇所	
235林班	保安林の整備	本数調整伐	1ha	
252林班	保安林の整備	本数調整伐	1ha	
312林班	保安林の整備	本数調整伐	11ha	
1176林班	保安林の整備	本数調整伐	5ha	
1204林班	保安林の整備	本数調整伐	21ha	
1350林班	保安林の整備	本数調整伐	7ha	
2035林班	保安林の整備	本数調整伐	13ha	
2217林班	保安林の整備	本数調整伐	8ha	
2361林班	保安林の整備	本数調整伐	2ha	
2363林班	保安林の整備	本数調整伐	15ha	
2390林班	保安林の整備	本数調整伐	5ha	
2392林班	保安林の整備	本数調整伐	2ha	
3050林班	保安林の整備	本数調整伐	7ha	
3082林班	保安林の整備	本数調整伐	4ha	
3084林班	保安林の整備	本数調整伐	5ha	
3138林班	保安林の整備	本数調整伐	2ha	
3139林班	保安林の整備	本数調整伐	17ha	
森林計画区計	保全施設	溪間工	29 箇所	
		山腹工	17 箇所	
		保安林管理道	4 箇所	
		計	50 箇所	
	保安林の整備	植栽工	－ ha	
		本数調整伐	126 ha	
		計	126 ha	

6 レクリエーションの森の名称及び区域

【現計画】

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
自然休養林は省略									
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	岩内岳国設 スキー場	既設	269.50	別表 参照	岩内岳国設スキー場と一体 となったミズナラ、イタヤ等を 主とする天然の広葉樹林等 で、眼下に広がる岩内平野と 遠くは積丹半島の山岳群等の 眺望がすばらしく、四季を通じ て利用されている。	複 天	スキー場外 (岩内町)	登山道 延長 1,900 m	
	ワイスホルン スキー場	既設	175.56	別表 参照	ワイスホルンスキー場と一 体となった森林で、多量で良 質な雪質に恵まれ、長期間に わたってのスキーに利用され ている。	複 天			
	中山峠 スキー場	省略							
	貫気別岳 スキー場	既設	584.21	別表 参照	羊蹄山南東山麓の留寿都村 に所在する貫気別岳(993m) 北西斜面に位置する貫気別 岳スキー場と一体のダケカン バを主体とする森林で、ス キーだけでなく近隣のレ ジャー施設の利用と併せて多 目的に利用されている。	複 天	スキー場外 (民間)		
	国設 カルルス温泉 スキー場	既設	88.05	別表 参照	カルルス温泉に隣接するス キー場と一体となった森林で、 オロフレ山(1231m)、来馬岳 (1040m)等の山々に囲まれ、 千歳川の溪間の静寂な環境 に恵まれている。 また、春の新緑、夏の深緑、 秋の紅葉等がすばらしく四季 を通じて滞在、通過の両型に 利用されている。	天	スキー場 (登別市、 民間)		
	室蘭岳 スキー場	省略							
	寿都 スキー場	既設	2.84	別表 参照	寿都スキー場と一体的に保 健休養及び青少年教育の目 的にも利用されている。	複 天	スキー場 (寿都町)		
	森 林 計 画 区 計		7箇所	1,438.00					
風景林・風致探勝林は省略									
シ ソ ノ 他 の 森 施 設 敷 (エ ー)	有珠山 単独施設	既設	5.06	別表 参照	有珠山のロープウェイ、園地 等の施設敷		園地外 (北海道、 伊達市、民 間)		
	森 林 計 画 区 計		1箇所	5.06					
森 林 計 画 区 合 計		19箇所	9,255.33						

6 レクリエーションの森の名称及び区域
【変更後】

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
自然休養林は省略									
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	ニセコいわない国際 スキー場	既設	269.50	別表 参照	ニセコいわない国際スキー 場と一体となったミズナラ、イ タヤ等を主とする天然の広葉 樹林等で、眼下に広がる岩内 平野と遠くは積丹半島の山岳 群等の眺望がすばらしく、四 季を通じて利用されている。	複 天	スキー場外 (岩内町)	登山道 延長 1,900 m	
	ワイスホルン	既設	175.56	別表 参照	ワイスホルンと一体となった 森林で、多量で良質な雪質に 恵まれ、長期間にわたっての スキーに利用されている。	複 天			
	中山峠 スキー場	省略							
	ルスツリゾート スキー場	既設	584.21	別表 参照	羊蹄山南東山麓の留寿都村 に所在する貫気別岳(993m) 北西斜面に位置するルスツリ ゾートスキー場と一体のダケ カンバを主体とする森林で、ス キーだけでなく近隣のレ ジャー施設の利用と併せて多 目的に利用されている。	複 天	スキー場外 (民間)		
	カルルス温泉サンラ イバ スキー場	既設	88.05	別表 参照	カルルス温泉に隣接するス キー場と一体となった森林で、 オロフレ山(1231m)、来馬岳 (1040m)等の山々に囲まれ、 千歳川の溪間の静寂な環境 に恵まれている。 また、春の新緑、夏の深緑、 秋の紅葉等がすばらしく四季 を通じて滞在、通過の両型に 利用されている。	天	スキー場 (登別市)		
	室蘭岳 スキー場	省略							
	寿都町民 スキー場	既設	2.84	別表 参照	寿都町民スキー場と一体的 に保健休養及び青少年教育 の目的にも利用されている。	複 天	スキー場 (寿都町)		
	森林計画区計	7箇所	1,438.00						
風景林・風致探勝林は省略									
シ ソ ノ 他 の 森 施 設 敷 数	有珠山施設	既設	5.58	別表 参照	有珠山のロープウェイ、園地 等の施設敷		園地外 (北海道、 伊達市、民 間)		
	森林計画区計	1箇所	5.58						
森林計画区合計		19箇所	9,255.85						

【現計画】

対 象 地 (林 小 班)	設 定 の 目 的	備 考
2397 ほ、へ ぬ、そ な、う の、く	ふれあいの森 (登別温泉ふれあいの森)	協定面積14.83ha 登別観光協会
森林計画区計		面積14.83ha
2273 へ3、へ4 ち、か、よ 2320 い～に ハ	遊々の森 (ふおれすと鉱山ふれあいの森)	協定面積22.39ha 登別市教育委員会
3516い～る つ～む の～や 3517い～む	遊々の森 (精二郎ブナの森)	協定面積204.35ha NPO法人ねおす
森林計画区計		面積226.74ha
3015い、ろ、は 3016い	モデルプロジェクトの森として (黒松内岳ブナ林再生プロジェクト)	協定面積4.01ha 黒松内岳ブナ林再生プロジェクト実行委員会
森林計画区計		面積4.01ha
3010ろ、は、ほ へ、ロ	多様な活動の森として (黒松内岳登山歩道修理等ボランティア 事業)	協定面積0.42ha(2,800m) 黒松内銀竜草の会
森林計画区計		面積0.42ha(2,800m)
森林計画区合計		面積246.00ha(2,800m)

【変更後】

対 象 地 (林 小 班)	設 定 の 目 的	備 考
2397 ほ、へ ぬ、そ な、う の、く	ふれあいの森 (登別温泉ふれあいの森)	協定面積14.83ha 登別観光協会
森林計画区計		面積14.83ha
2273 へ3、へ4 ち、か、よ 2320 い～に ハ	遊々の森 (ふおれすと鉱山ふれあいの森)	協定面積22.39ha 登別市教育委員会
3516い～る つ～む の～や 3517い～む	遊々の森 (精二郎ブナの森)	協定面積204.35ha NPO法人ねおす
1343わ、ロ 1350ろ、へ と、ロ 1351に、と、イ 1363ろ、は、イ	遊々の森 (冒険家族の森)	協定面積94.30ha NPO法人自然生活体験センター 冒険家族
森林計画区計		面積321.04ha
3015い、ろ、は 3016い	モデルプロジェクトの森として (黒松内岳ブナ林再生プロジェクト)	協定面積4.01ha 黒松内岳ブナ林再生プロジェクト実行委員会
森林計画区計		面積4.01ha
3010ろ、は、ほ へ、ロ	多様な活動の森として (黒松内岳登山歩道修理等ボランティア 事業)	協定面積0.42ha(2,800m) 黒松内銀竜草の会
森林計画区計		面積0.42ha(2,800m)
森林計画区合計		面積340.30ha(2,800m)

別表
レクリエーションの森

【現計画】

【自然休養林】

省略

【野外スポーツ地域】

岩内岳国設スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

ワイスホルンスキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

中山峠スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

貫気別岳スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

国設カルルス温泉スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

室蘭岳スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

寿都スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

【風景林】～【風致探勝林】

省略

【その他】

有珠山単独施設

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
2403	ロ		0.09	
	ワ		0.04	
	ヨ		0.06	
2405	ニ		0.95	
	ト		0.27	
2411	ロ		0.06	
	ハ		0.55	
2413	ハ		0.67	
2414	イ01		1.82	
	イ02		0.29	
	ヘ		0.04	
	ト		0.22	

【変更計画】

【自然休養林】

省略

【野外スポーツ地域】

ニセコいわない国際スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

ワイスホルン

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

中山峠スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

ルスツリゾートスキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

カルルス温泉サンライバスキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

室蘭岳スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

寿都町民スキー場

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
省略				

【風景林】～【風致探勝林】

省略

【その他】

有珠山施設

林班	小班	施業方法	面積	保健機能
2403	ロ		0.09	
	ワ		0.04	
	ヨ		0.06	
2404	ハ		0.06	
2405	ニ		0.95	
	ヘ		0.36	
	ト		0.27	
2407	ス		0.10	
2411	ロ		0.06	
	ハ		0.55	
2413	ハ		0.67	
2414	イ01		1.82	
	イ02		0.29	
	ヘ		0.04	
	ト		0.22	